

事業番号	15 01 18	事業改善シート（24年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども安全総合対策事業費				担当課	部局	警察本部
						課・室	少年課
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト	4-2 県民生活の安全確保			E-mail	police-seiankikaku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1 犯罪のない安全な社会づくり			実施期間	S29 ~	

1 事業の概要

目指す姿	将来を担う子どもの非行防止及び被害少年に対する保護、少年の立ち直り支援等について関係機関・団体及び地域と連携した協働作業を行うなど施策の充実を図り、子どもの安全対策、規範意識の醸成、少年非行防止及び少年の保護支援などを推進し、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 少年の非行件数は減少しているものの、人口比では成人の約5.8倍、共犯率は成人の約2.6倍、再非行者率は約3割と高水準で推移している。加えて少年非行の低年齢化が進み、凶悪犯罪の発生など少年の非行情勢は厳しい状況である。 スマートフォンの普及などによる少年に悪影響を与える情報の氾濫、児童に対する性的犯罪、いじめ問題など、少年を取り巻く環境も変化している。 					
県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察官職務執行法、少年法、児童福祉法、児童買春・児童ポルノ法、出会い系サイト規制法、児童虐待防止法、少年警察活動規則 他			
事業内容	① 成果目標(H24)					
	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識のバロメーターと言える万引きの抑止活動の推進 非行少年の立ち直り支援活動の推進 					
事業内容	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H24事業実績			
					H24 (当初) H24 (決算) H25 (当初)	
	1. スクールサポーター経費	直接	・学校等と連携した少年非行防止、安全対策活動等を行う、スクールサポーター7名の経費		15,390 14,957 15,424	
	2. 少年警察ボランティア活動経費	直接	・少年の非行防止、健全育成活動等を行う、少年警察ボランティアの活動経費		6,331 7,228 6,186	
	3. 子ども緊急通報装置経費	直接	・子ども緊急通報装置にかかる維持管理経費		843 839 843	
	4. 子ども安全対策経費	直接	・子どもを守る安心の家表示の整備 ・子ども安全対策に要する広報啓発活動経費		1,931 914 1,822	
	5. 子どもの保護・捜査活動経費	直接	・少年の福祉を害する犯罪等の取締りに要する経費		472 391 472	
6. 少年立ち直り支援活動経費	直接	・少年の規範意識向上活動及び少年の立ち直り支援に要する経費		0 211		
		合計	24,967	24,329	24,958	
事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	当初予算	24,801	24,746	24,967	24,958	
	補正予算	0	0	0	0	
	合計(A)	24,801	24,746	24,967	24,958	
	国庫支出金	4,152	4,076	3,900	3,886	
	県債	0	0	0	0	
	その他(諸収入)	77	77	79	66	
	一般財源	20,572	20,593	20,988	21,006	
	決算額(B)	23,072	22,694	24,329		
概算職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01		
概算人件費	83	83	83	83		
概算事業費(B(A)+C)	23,155	22,777	24,412	25,041		
成果目標の達成状況	項目	現況(見込)	H24		H25	
			目標	成果	達成状況	目標
	刑法犯認知件数	H23 17707件	20,000件未満	15,463件	達成	15,000件未満
	フィルタリング利用率の向上	55.20%	100%	66.20%	未達成	100%
目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 参加型による万引き防止教室をはじめ、被害対象店舗等に対する万引き防止活動を推進した結果、万引きの発生件数が前年から476件減少、更に、少年の万引きによる検挙人員も489人と前年から276人も減少するなど、抑止活動の成果が現れた。 フィルタリング利用率100%を目指し利用率の向上を推進した結果、前年より少年の携帯電話所有者が増加する中、フィルタリング利用率も10%以上向上したが、フィルタリングの必要性・重要性が全ての保護者に対し浸透しなかったことから目標達成には至らなかった。 					

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 将来を担う子どもの非行防止及び被害少年に対する保護、立ち直り支援活動等に関係機関や地域と連携して推進し、再非行率を低下させる。 フィルタリングの必要性・重要性を学校参観日、各種会合、講演会等あらゆる場面を活用して推進し、利用率100%を目指す。